

経済成長のけん引分野の連携事業の見直しについて

播磨圏域連携中枢都市圏ビジョンに掲載している連携事業のうち、経済成長のけん引分野の19事業について、関連指標や検討会議での検証結果を踏まえた対応策をまとめました。

(凡 例)

産学金官民一体となった経済戦略の策定、国の成長戦略実施のための体制整備

【取組内容】

圏域内の企業、大学、研究機関、金融機関、連携する市町等が一体となった協議会の運営並びに圏域の経済戦略の策定、推進及び進捗管理を行う。

連携事業名	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R1(2019)
播磨圏域経済成長戦略の推進	播磨圏域成長戦略会議の開催				
	播磨圏域活性化推進検討会の開催				
		播磨圏域政策創造プロジェクトの実施			
				都市圏ビジョンの評価	都市圏ビジョンの改定

【関連指標等】

連携事業の進捗率

播磨圏域の経済循環 2013

【検証】

・ 連携事業の進捗率は順調に推移しているが、より効果的な連携事業の実現に向けた取組が必要。

・ 民間消費は圏域外へ1,864 億円¹流出している。圏域内経済循環の確立に向けて分析が必要。

・ 連携事業の効果的な実施のため、連携中枢都市圏の取組について圏域住民への普及啓発が必要。

【対応策】

・ 効果的なフォローアップに向けて産学金官民との連携を強化

⇒拡充【播磨圏域経済成長戦略の推進】

・ 播磨圏域における地域経済循環の確立に向けて調査を実施

⇒新規【圏域における地域経済循環の推進】

・ 圏域の取組について圏域住民への普及啓発を強化

⇒新規【播磨圏域の情報発信】

⇐連携分野

⇐取組内容

⇐連携事業の実施状況

⇐連携分野に関連する指標等

⇐連携分野ごとの成果・課題

⇐次期ビジョンに反映させる対応策

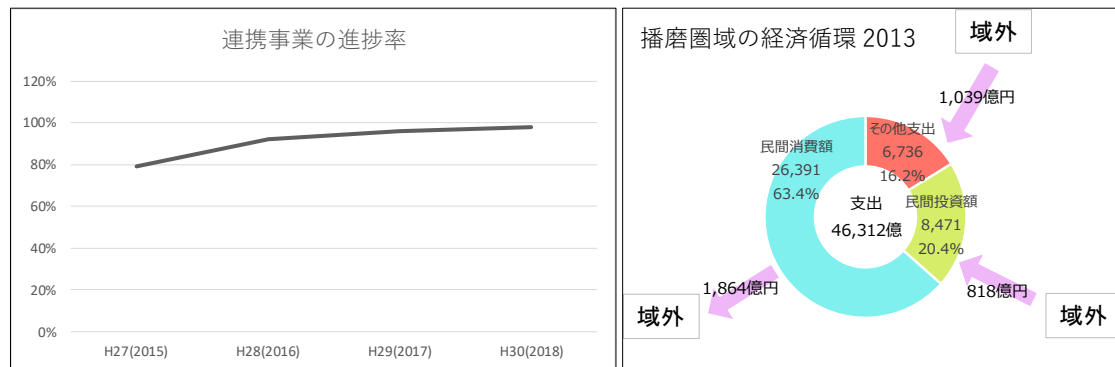
産学金官民一体となった経済戦略の策定、国の成長戦略実施のための体制整備

【取組内容】

圏域内の企業、大学、研究機関、金融機関、連携する市町等が一体となった協議会の運営並びに圏域の経済戦略の策定、推進及び進捗管理を行う。

連携事業名	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R1(2019)
播磨圏域経済成長戦略の推進	播磨圏域成長戦略会議の開催				
	播磨圏域活性化推進検討会の開催				
		播磨圏域政策創造プロジェクトの実施			
				都市圏ビジョンの評価	都市圏ビジョンの改定

【関連指標等】



【検証】

- ・ 連携事業の進捗率は順調に推移しているが、より効果的な連携事業の実現に向けた取組が必要。
- ・ 民間消費は圏域外へ 1,864 億円¹流出している。圏域内経済循環の確立に向けて分析が必要。
- ・ 連携事業の効果的な実施のため、連携中枢都市圏の取組について圏域住民への普及啓発が必要。

【対応策】

- ・ 効果的なフォローアップに向けて産学金官民との連携を強化
⇒ **拡充**【播磨圏域経済成長戦略の推進】
- ・ 播磨圏域における地域経済循環の確立に向けて調査を実施
⇒ **新規**【圏域における地域経済循環の推進】
- ・ 圏域の取組について圏域住民への普及啓発を強化
⇒ **新規**【播磨圏域の情報発信】

¹ RESAS(地域経済分析システム)のデータから各自治体の計数を合計して算出しており、実際の値とは完全には一致しない

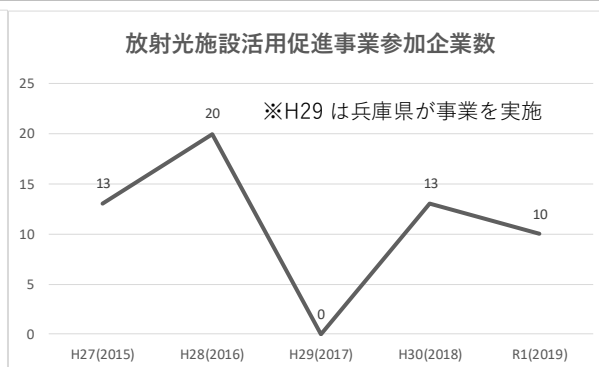
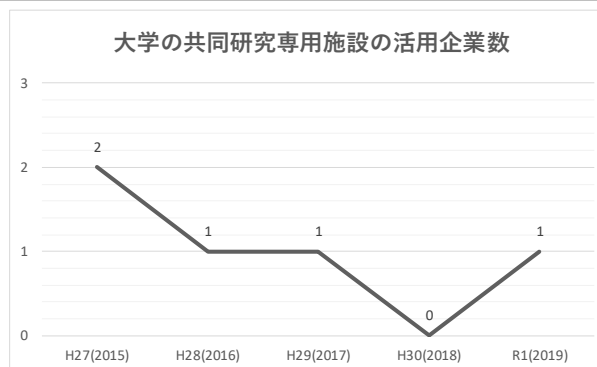
産業クラスターの形成、イノベーション実現、新規創業促進、地域の中堅企業等を核とした戦略産業の育成（①革新的イノベーションにチャレンジする企業への支援）

【取組内容】

圏域の経済戦略に基づき、圏域のものづくり力の強化に取り組む。

連携事業名	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R1(2019)
新産業創出産業共同研究助成事業	大学の共同研究専用施設の活用促進				
	放射光分析実習				
放射光施設活用促進事業、スーパーコンピュータ活用促進事業	ナノマイクロ切削実習				
	放射光微細加工実習				
	スーパーコンピュータ活用実習				
	イノベーションセミナー開催				

【関連指標等】



【検証】

- ・ 市町単独での事業実施は難しい。連携事業として実施することで、企業同士の連携も可能となる。
- ・ 新産業創出産業共同研究助成事業は姫路市に主たる事業所を有する中小企業を対象であり、連携効果が低い。
- ・ 放射光施設やスーパーコンピュータの活用に積極的な企業が少いため、啓発、情報発信が必要。

【対応策】

- ・ 圏域の取組みについて圏域住民への普及啓発を強化
⇒**新規**【播磨圏域の情報発信】
- ・ 2事業を統合し、引き続き実施。
⇒**継続**【新産業の創出支援】
- ・ 新産業創出産業共同研究助成事業の補助対象者の範囲については引き続き検討

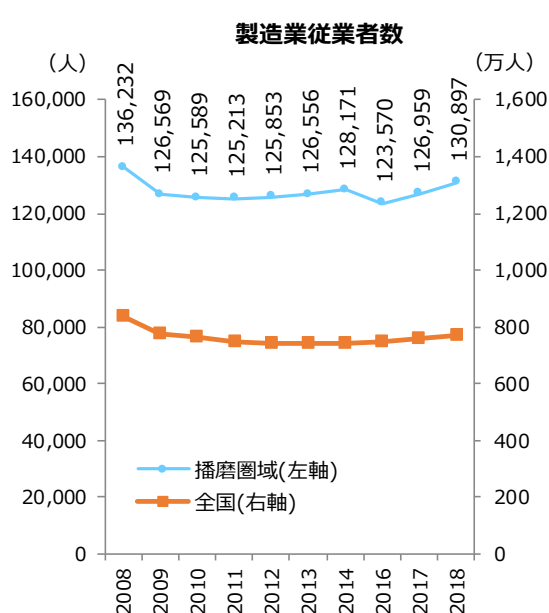
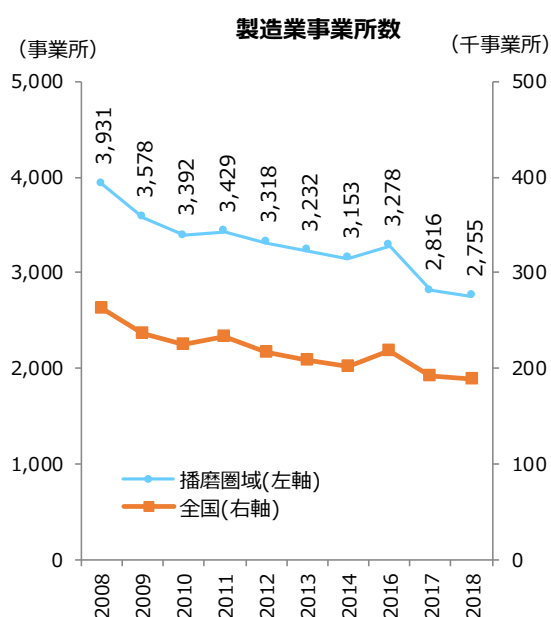
産業クラスターの形成、イノベーション実現、新規創業促進、地域の中堅企業等を核とした戦略産業の育成（②製造業の基盤強化）

【取組内容】

圏域の経済戦略に基づき、圏域のものづくり力の強化に取り組む。

連携事業名	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R1(2019)
	技術相談への対応				
ものづくり支援事業	各種ものづくりセミナー開催				
			7 商工会議所による 国内展示会合同出展		
	ものづくり大学校の利用促進に向けた広報等（情報誌「ファイル」）				
ものづくり力を支える人材の育成支援事業	ものづくり企業の情報発信（「キラリ！姫路・播磨のものづくり～How to テクノ～」）				
	ものづくり向上セミナー開催				
		グローバル人材養成セミナー開催			
企業誘致の推進	企業立地環境調査		企業投資動向アンケート調査		
	工場適地の創出・整備に向けた調査研究		工場用地土地台帳整備		
	企業誘致環境ポテンシャル調査				
	企業立地ガイド作成			企業立地パンフレット作成	

【関連指標等】



【検証】

- ・ 事業所数、従業者数ともに全国とほぼ同様の推移。
- ・ 姫路商工会議所と共同設置している「姫路ものづくりセンター」の活用促進に繋がった。
- ・ 東京ギフトショーへの7商工会議所共同出展は好評で、各団体が独自に取り組むことになった。
- ・ ものづくり大学校の活用に関し、圏域企業への更なる周知が必要。
- ・ 市町単独での実施が難しい企業投資動向アンケートの調査結果を共有できたことは有意義。

【対応策】

- ・ 圏域の取組みについて圏域住民への普及啓発を強化
 - ⇒**新規**【播磨圏域の情報発信】
- ・ 技術相談等に加え国・県・連携市町等の支援情報を提供しものづくりを支援
 - ⇒**拡充**【ものづくり支援事業】

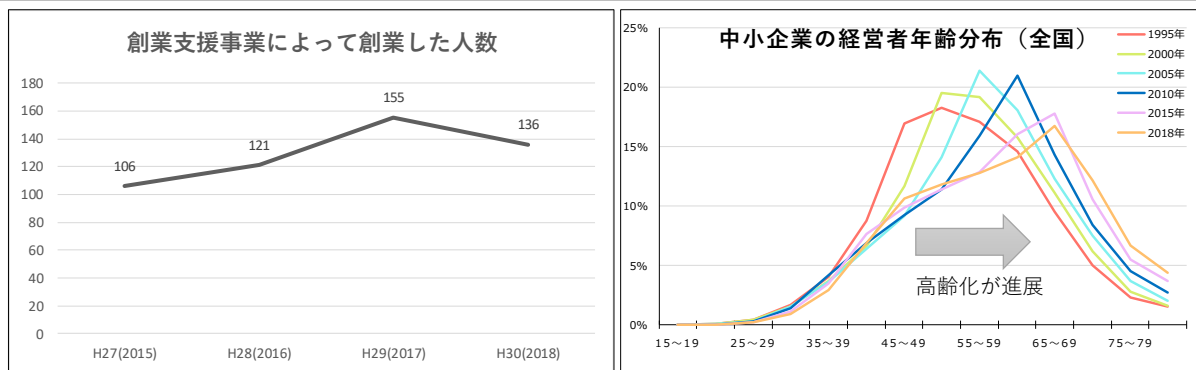
産業クラスターの形成、イノベーション実現、新規創業促進、地域の中堅企業等を核とした戦略産業の育成（③起業家の創出と第二創業の支援）

【取組内容】

圏域の経済戦略に基づき、圏域のものづくり力の強化に取り組む。

連携事業名	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R1(2019)
創業支援事業	開業ガイドブック作成	創業マニュアル作成			
	創業ワンストップ窓口「姫路創業ステーション」運営				
	特定創業支援セミナー開催				
				創業機運醸成セミナー開催	

【関連指標等】



【検証】

- ・ この4年間で市外の88人（うち圏域内は78人）が姫路市の特定創業支援のセミナーを受講。
- ・ 我が国における中小企業の経営者年齢のピークが上昇しており、経営者の高齢化が著しい。

【対応策】

- ・ 起業・第二創業に加え事業承継を支援
⇒ **拡充【起業・創業・事業承継支援】**

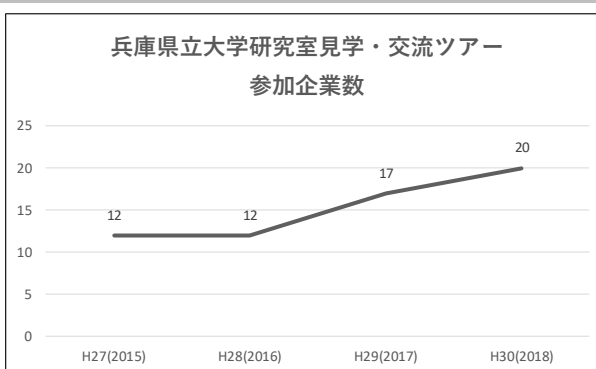
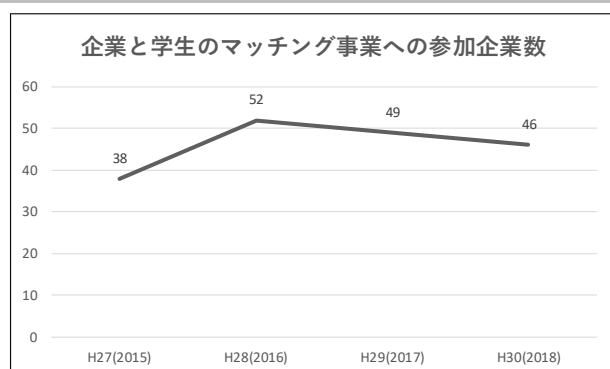
産業クラスターの形成、イノベーション実現、新規創業促進、地域の中堅企業等を核とした戦略産業の育成（④産学官連携の支援）

【取組内容】

圏域の経済戦略に基づき、圏域のものづくり力の強化に取り組む。

連携事業名	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R1(2019)
播磨圏域における産学官民の交流推進	兵庫県立大学産学連携・研究推進機構への支援				
	はりま産学交流会への支援				
「企業・大学・学生マッチング」事業	企業・大学・学生マッチング in HIMEJI 開催				
	兵庫県立大学研究室見学・交流ツアー開催				

【関連指標等】



【検証】

- ・ はりま産学交流会には、姫路市以外の市町の企業も参加しているが十分なPRができていない。
- ・ 企業や大学の研究者らが交流する場など、イノベーションの契機となるプラットフォームの創設について検討が必要。
- ・ 企業・大学・学生マッチング事業は、産学連携、産産連携のみならず人材確保の観点からも評価を得ている。

【対応策】

- ・ 圏域の取組みについて圏域住民への普及啓発を強化
⇒**新規**【播磨圏域の情報発信】
- ・ セミナー等の開催によりオープンデータの活用やオープンイノベーションを推進
⇒**拡充**【イノベーションを加速する産学金官民の交流推進】

産業クラスターの形成、イノベーション実現、新規創業促進、地域の中堅企業等を核とした戦略産業の育成（⑤環境と調和した環境関連産業の創出）

【取組内容】

圏域の経済戦略に基づき、圏域のものづくり力の強化に取り組む。

連携事業名	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R1(2019)
水素社会に向けた取組	国や県の取組、他都市の先進事例調査 兵庫県水素社会戦略研究会のWGに参加				
バイオマス産業都市構想の研究	情報収集、調査検討、圏域各市町との情報交換 バイオマス資源利活用検討業務委託の実施 バイオマス発電施設視察 バイオマス発電施設視察				

【関連指標等】



(播磨圏域経済成長戦略より抜粋)

【検証】

- ・ 水素社会にかかる国・県の取組について情報共有できたが、事業化にまでは至っていない。
- ・ バイオマス発電施設の見学を2回行ったが、現時点では広域連携による具体的な事業化が困難。

【対応策】

- ・ 「水素社会に向けた取組」は、「環境意識の啓発」に統合する。
- ・ 水素ステーションの設置や燃料電池自動車、蓄電池システムの普及促進に向けた啓発を行う
⇒**拡充**【環境意識の啓発】
- ・ 「バイオマス産業都市構想の研究」は、取組みが具体化した段階で改めて事業化を検討する。
⇒**廃止**【バイオマス産業都市構想の研究】

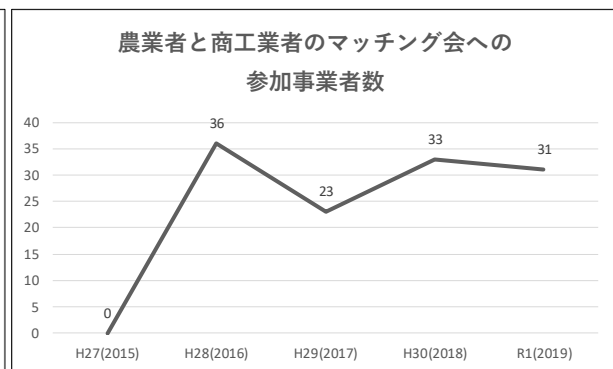
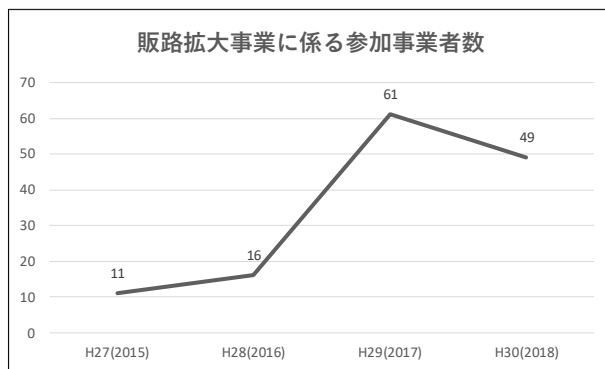
地域資源を活用した地域経済の裾野拡大

【取組内容】

圏域の経済戦略に基づき、圏域の多彩な地場産品のブランドの育成に取り組む。

連携事業名	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R1(2019)
「播磨地域ブランド」の確立	ブランド戦略の調査・研究	ブランド戦略確立	醸造をキーワードにリブランディング		
		ホームページ・パンフレットを用いた情報発信			
		5つ星ひょうご、兵庫認証食品制度の活用促進			
播磨地場産品販路拡大事業	販売促進戦略の調査、研究	圏域内でのPR（「豊稔の国・はりま」大物産展等）			
		圏域外へのPR（首都圏、京阪神地域）			
		地元特産品 PR 試食会開催			
海外展開支援事業	海外販路拡大セミナー開催				
	海外展開相談窓口の開設				
			海外バイヤー招聘商談会		
農商工等連携の推進	事業実施に向けた検討	農商工連携マッチングセミナー開催	農商工マッチング商談会の開催		
	カラスミ加工施設支援				
	マアナゴの研究（姫路市＆近畿大学農学部富山試験場）				

【関連指標等】



【検証】

- ・ 「播磨地域ブランドの確立」は、登録事業者の業種範囲が広くブランド化には繋がらなかった。
- ・ 海外バイヤー招聘商談会は、バイヤーがターゲットとする国や商品とのマッチングが困難。
- ・ 産官学協働マアナゴ研究事業は、養殖技術の確立が難しく、長期間の継続研究が必要。
- ・ 農商工連携マッチング商談会は、市外事業者の参加が少ない。広域でのマッチングは情報収集等の面で事業者の負担が大きい。

【対応策】

- ・ 「醸造」をキーワードにリブランディングを図り播磨の特色を打ち出す
⇒**拡充**【「播磨地域ブランド」の確立】
- ・ 商工会議所等と連携し播磨の地場産品を圏域内外で PR
⇒**拡充**【地場産品の販路開拓支援】
- ・ JETRO（日本貿易振興機構）と連携し海外で開催される展示会等への出展を支援
⇒**拡充**【海外展開への支援】
- ・ 農業団体等との連携を強化し農商工等連携を推進
⇒**拡充**【農商工等連携の推進】

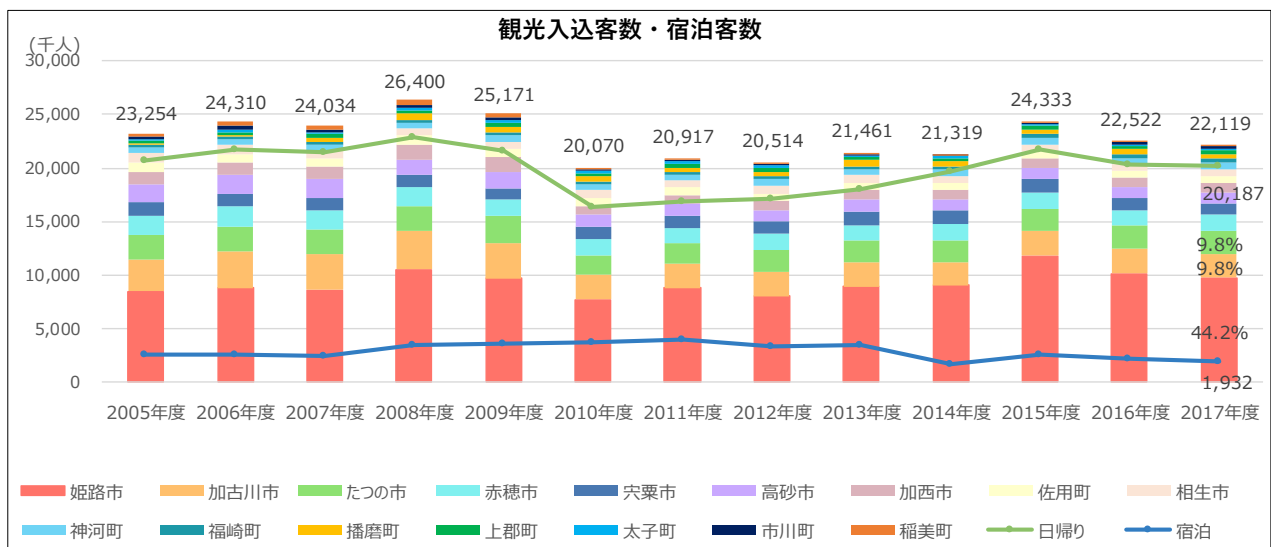
戦略的な観光施策

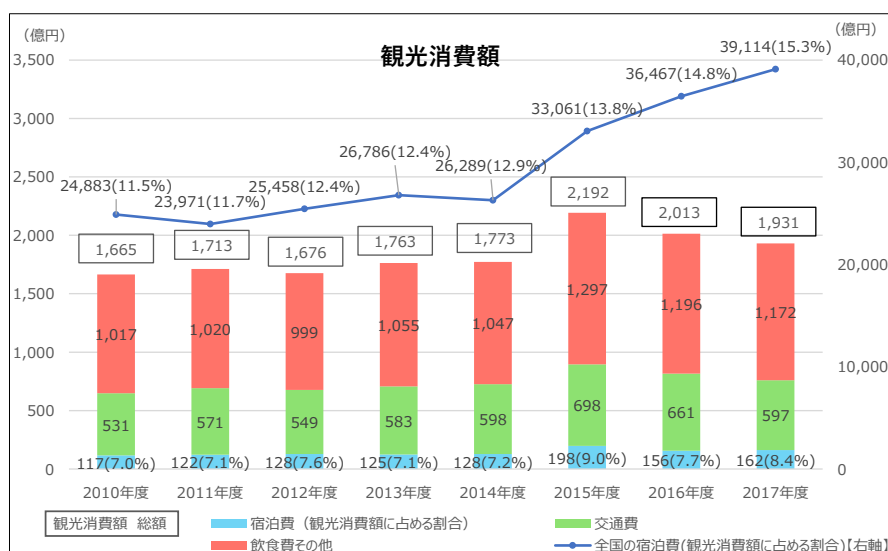
【取組内容】

圏域の経済戦略に基づき、圏域内への観光客やコンベンション参加者など交流人口の増加に取り組む。

連携事業名	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R1(2019)
広域観光連携事業	広域観光ホームページの運営				
	パンフレットの作成	PR、プロモーション活動の実施（国内の観光案内所、旅行博等）			
	工場景観モニターツアー実施		旅行エージェントとの商談会、観光セミナーでのPR（国内）		
外国人観光客誘致促進(インバウンド観光の推進)	パンフレット、ツーリストガイドの作成			訪日外国人向け 着地型観光プログラムブラッシュアップ事業	
	PR、プロモーション活動の実施（国外の旅行博、TV番組、Web等）				
			旅行エージェントとの商談会、観光セミナーでのPR（国内）		
大規模集客イベントの開催・PR	各種大規模イベントの実施（姫路城夜桜会・観桜会・お城まつり・ゆかたまつり・観月会・人間将棋姫路の陣）				
		滞在型観光推進事業	姫路城彩時記等	姫路城夜間公開イベント	
広域対応型MICE誘致事業	圏域内のMICE施設の情報共有				
		PR、プロモーション活動の実施			
			文化コンベンション施設パンフレット作成	商談会、展示会における文化コンベンションセンターのPR	
				ユニークベニューパンフレット作成、PR	
					コンベンションビューロー機能高度化事業

【関連指標等】





【検証】

- ・ 観光入込客数・観光消費額ともに、2年連続減少しており、宿泊の割合も低い。
- ・ 新たな広域観光ルートの設定やパンフレットの多言語化、体験型プログラム等、観光素材の発掘、充実の取り組みが必要。
- ・ 各市町の大規模集客イベントの情報共有等が十分でなく、イベントの波及効果が広がっていない。
- ・ MICE については施設を保有していない市町もあり、広域観光等と比較して関心が低い。

【対応策】

- ・ 圏域の取組みについて圏域住民への普及啓発を強化
⇒**新規【播磨圏域の情報発信】**
- ・ 戦略的な広域観光に向けて圏域内の観光動向を把握
⇒**新規【圏域の観光動向の把握】**
- ・ 日本遺産等の観光素材を活用し広域観光、滞在型観光を推進
⇒**拡充【広域観光の推進】**
- ・ 食の多様性に対応した外国人観光客の受入体制の整備
⇒**拡充【インバウンド観光の推進】**
- ・ 各市町の観光案内所等でのイベント情報の相互発信など、より効果的な方策を検討する
⇒**拡充【大規模集客イベントの開催・PR】**
- ・ 姫路市文化コンベンションセンターの活用に向けて検討
⇒**拡充【広域対応型MICEの誘致】**